

箱根湯本ホテル桜庵・コンドミニアム桜

HAKONE YUMOTO HOTEL OH-AN AND CONDOMINIUM SAKURA

所在地：神奈川県足柄下郡箱根湯本茶屋字葛原230-5

建築主：株式会社東京石亭

設計者：株式会社坂倉建築研究所

施工者：株式会社熊谷組

竣工：1987年7月25日

Location : Hakone Yumoto, Kanagawa Prefecture

Owner : Tokyo Sekitei Co., Ltd.

Architects : Sakakura Associates Architects and
Engineers

Contractors : Kumagai Gumi Co., Ltd.

Completion date : July, 1987



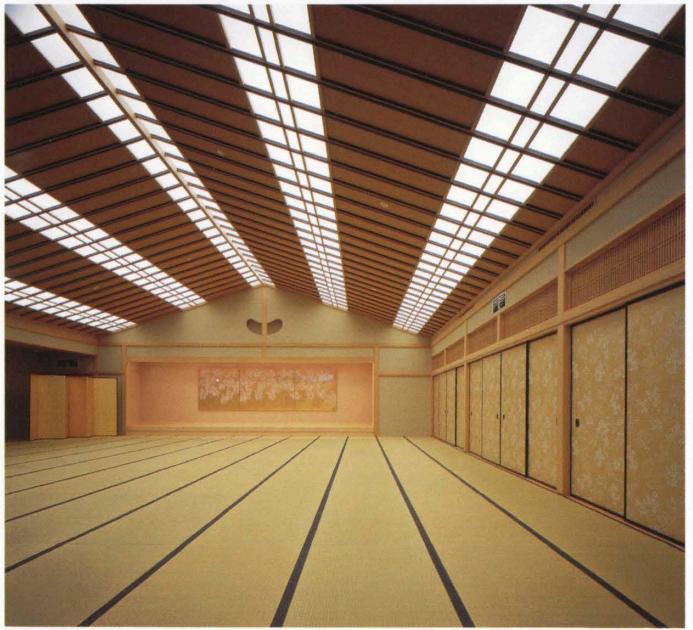
▲南側外観 South side.



▲中庭 Courtyard.



▲小宴会場 Sub-banquet hall.



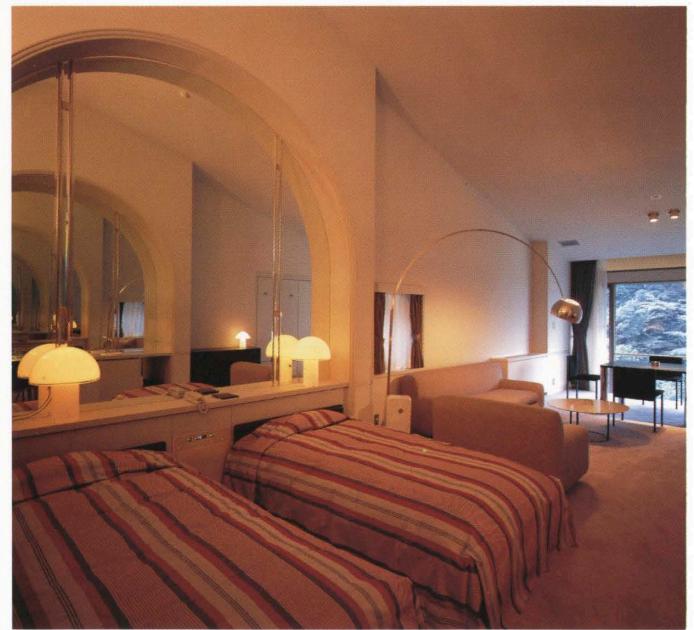
▲大宴会場 Main banquet hall.



▲客室 Guest room.



▲プール Pool.



▲客室 Guest room.



▲大浴場(男) Men's bathroom.

[桜庵]

■建築概要

敷地面積 5,452m²
建築面積 1,902m²
延床面積 5,208m²
構造 鉄筋コンクリート造・鉄骨造(宴会場屋根)
規模 地下1階・地上4階
工期 1986年5月～1987年7月

■仕上げ概要

外部仕上げ 屋根:鉄骨下地センチュリーポード
〔管理棟〕スカイモルタル 〔客室棟〕アスファルトルーフィング銅板一文字葺き緑青仕上げ
外壁:コンクリート打放し、割肌タイル65×215、外部用ソフトジュラク 外構:花崗岩ビンコロ石敷き 建具:スチールサッシュウレタン塗装、アルミサッシュジュラクロン焼付け、米檜製建具ワックス

内部仕上げ [玄関ロビー] 床:コンクリート金ゴテ押え、大理石 壁:コンクリート打放し、大理石 天井:コンクリート打放し+木縁型漆喰風塗装 [大・小宴会場] 床:ネダフォーム畳敷き 壁:PB・ユートップ、京壁ジュラク 天井:LGS硅酸カルシウム板、杉突き板 [屋内プール] 床:コンクリート金ゴテ押え、タイル 壁:コンクリート打放し、大理石、タイル 天井:SUS下地硅酸カルシウム板タイル [1

～3階客室・和室] 床:浮床工法、一部木下地畳敷き 壁:PB・GL工法、一部木下地京壁ジュラク、杉・赤松・檜・チークなど 天井:木下地杉・網代 [4階客室・洋室] 床:コンクリート金ゴテ仕上げフェルトカーペット敷き 壁:PB・GL工法VP漆喰木ゴテ仕上げ 天井:木下地VP漆喰木ゴテ仕上げ

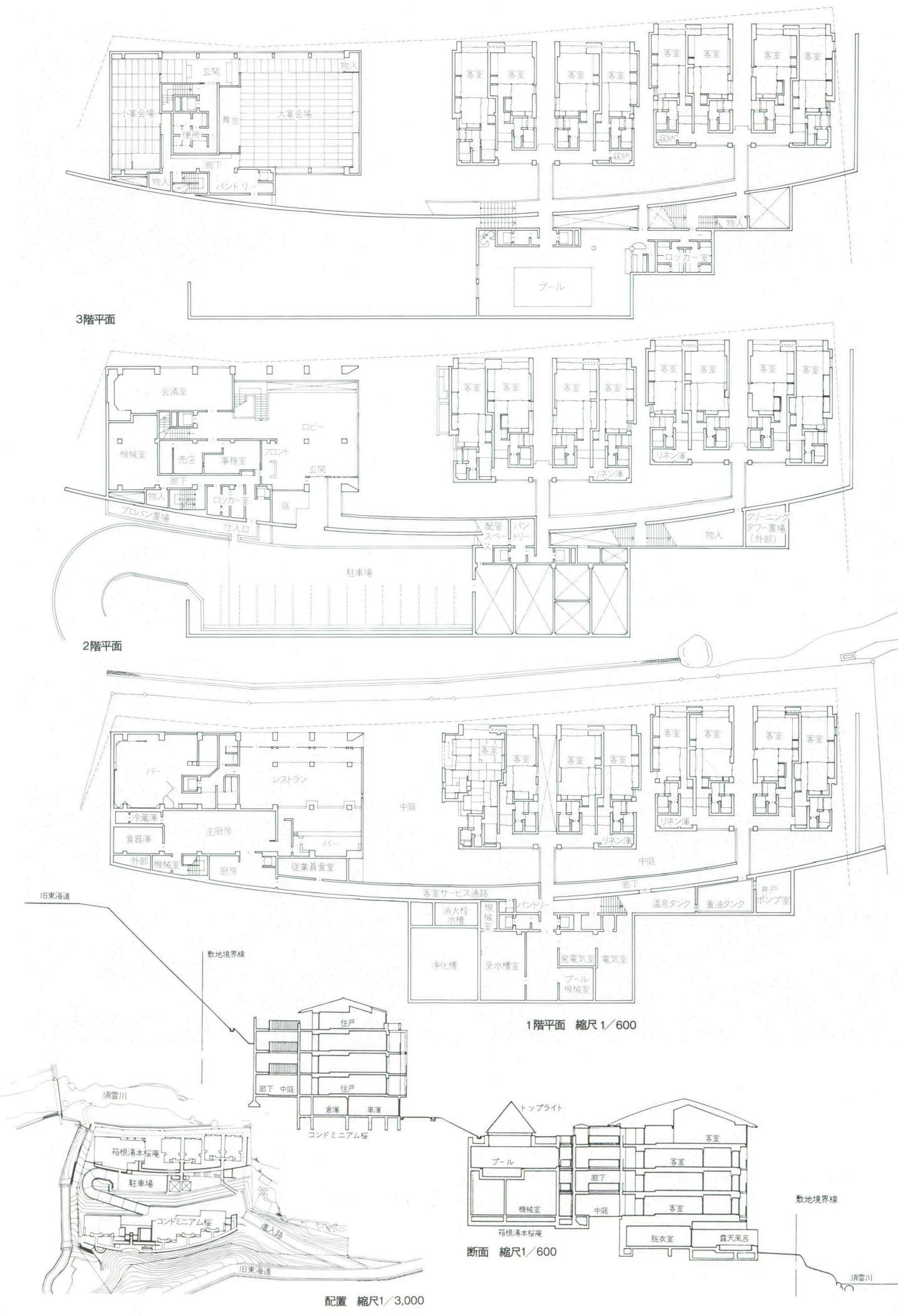
■設備概要

空調 熱源:油焚冷温水発生機110USRTポイ

[コンドミニアム桜]

■建築概要

敷地面積 2,475m²
建築面積 1,233m²
延床面積 4,694m²
構造 鉄筋コンクリート壁式構造
規模 地上5階
工期期間 1986年5月～1987年7月



選評

原 広司・佐々木群・舟橋 巍

REVIEW

Hiroshi Hara, Gun Sasaki, Iwao Funahashi

箱根湯本ホテル桜庵及びコンドミニアム桜の二つの建物は、小さな谷間を囲む北側急傾斜面の上下に、等高線に沿って平行に立っている。建物自体は、あたりの風景から身を隠すように構え、しかし、建物内部からは、向かいのそそり立つ山森が眼前に展開する。地形、森、水などをはじめとする場所の自然特性を活用した建築である。

地形の活用法からもうかがえる通り、この建築の外観は清楚な
かんじにまとめられている。それとは対比的に、特に宿泊施設で
ある桜庵の室内空間は、さまざまな意匠を凝らし、きわめて密度
の高い内容をもっている。この基本的な設計態度は、豊かな自然
環境に立つ建物に対する一般的な指針を提示しているといえよう。

宿泊施設や集合住居では、部屋ないしは住居が標準単位として設計され、それらを並べ重ねるといった画一的な方法がとられがちである。というより、ほとんどの建物がそうした画一化の域を出ることができないでいるのが現状である。それに対して、設計者は、すべての単位に変化をもたらすという多様性の表出を意図して設計にのぞみ、これを見事に実現している。

こうした多様な単位からなる混成系の建築は、単純に言えば設計施工とともに、通常の建築に比してきわめて手間がかかる。まして、施工のうえからすれば、足元が不確かな急斜面においてはなおさらのことである。多様な建築を実現するためには、関係者全員が建築に対する情熱をもってあたる以外にない。同時に、施主側の理解と見識を必要とする。この建築は、こうした建築の理念を共有した共同作業の典型例のひとつであるといえる。

また、室内空間のそれぞれの単位には、実に細かな設計と施工がほどこされている。たとえば、桜庵の和室の部屋は、座敷、茶室、浴室などによって構成されているが、ヴァリエーションは、ふすまの和紙や引手あるいは部屋付の小道具、照明器具などに及ぶ。また、室内のデザインは、細部におよぶパラディグム（範例の集合）の生成にもかかわらず、要素の一つ一つが無理のないかたちに収まっており、総体としては秩序を感じられる。今日ようやく多様な建築が社会から歓迎される傾向を見るとき、同じく多様性をもっているとしても、諸要素が優れたデザイン力あるいは施工力によって、統括されていてはじめてその名にふさわしい建築であるといえ、こうした意味で、この二つの建築は優れた事例であるといえる。

自然に対する解釈、建築の文化的意義に対する使命感など、高いレベルにある建築活動の結実としての、この建築に建築業協会賞を贈る。

Built parallel on two levels on the steep northern slope of a small valley in Hakone Yumoto, the Hotel Oh-an and the Condominium Sakura virtually conceal themselves from the surrounding scenery. From their interiors, however, they command spacious views of the land, forests, and water of the mountains soaring in front of them. In contrast to the neat, simple exteriors, the interiors—especially those of the hotel—reveal diverse and elaborate design techniques. This is the generally accepted approach for buildings located in beautiful natural settings.

As is dictated by contemporary conditions almost everywhere, the hotel and the condominium are designed with houses or residential units as standard elements, which are aligned or placed on top of each other. Under such conditions, designers must seek to express diversity by varying the units. In this instance, they have succeeded very well in the task.

Composite buildings are more troublesome than ordinary architecture to design and build. In this case, the steep incline of the site aggravated matters from the contractors' viewpoint. Success in such projects demands enthusiasm from all parties plus understanding and knowledge from the client. These buildings are classical examples of architectural concepts shared by all members of a team.

Interior design and construction are of the most delicate. Variation is to be seen in the paper and pulls of the sliding fusuma panels, small furnishings, and lighting of all the traditional rooms (guest rooms, tea-ceremony rooms, and baths) in the hotel. In spite of paradigms for parts in the interior designs, all elements are fitted comfortably into ordered wholes. Today society is at last beginning to welcome architecture of diversity. Nonetheless, to be worthy of the name, such architecture must be composed of elements reflecting superior design and construction abilities. In that sense, both of these buildings are outstanding. Moreover, they deal very well with the natural environment while demonstrating a sense of mission in relation to architecture's cultural significance.